

# たまき塾通信 2015. 10月号

丁度丁度しい晴天が続きます。10月に入り我が家のお米も新米に  
なりました。ぶっくらつややかで一層美味しく、ごはん好きの私には  
にまらません。恵みの秋に感謝して頂いています。美味しいですね。

さて10月4日は私立高校説明会がふたのみ文化センターにおいて  
行われ中3生と保護者の皆様、中2生の保護者の皆様が来校のためにと  
ご参加下さいました。塾ではあまり見ない制服で男の子も女の子も  
丁寧に見えまして。たくさんさんの私立高校の先生に直接お話を伺いそれぞれ  
勉強のアドバイスや励ましのお言葉も頂き、皆さん皆すいっぴんと仲か  
勉強のエンジンもかかっただけに思います。たくさんさんの可能性のあることに  
改めて気がついてくれたのかと私達講師も嬉しい思いです。

その翌日にはビッグニュースが飛びこみました。とても嬉しいニュース。  
二年連続の快挙、日本人のノーベル賞受賞です。素晴らしい!

ノーベル医学・生理学賞を大村智さんが受賞されたのです。

熱帯病の一種であるオコルセル病でアフリカのたくさんの方々が  
失明か命を失っていたのを大村先生の発見された薬で、何億人もの  
人々の命を救われたそうです。そして大村先生は延べ10億人の人達に

その薬を無償提供されてきたのでそうです。それまで年間、たくさんの人々、  
4万人もの方々が失明されていたアフリカで飲み薬でその危険を減らす  
世界的大発見で大村先生は平成の野口英世と尊敬されています。

大村先生は幼い時おはあ様に「人のためにやることを(おせい)」と  
くり返し言われていたようで「科学は人のためにやらなきゃ」と思って  
研究を続けられたと話されました。小さい時に聞いた言葉はその人の人格を  
形成する大切な土台になります。その人の一生を左右する影響を与えます。  
私の今、皆さんに伝えていることや皆さんの人生の土台に変わってくれと思うと  
身が引き締まります。「人に優しく、自分に厳しく」「できる必ず出来る」  
「人として一流になろう」「あきらめず、手を抜かない」  
「自分の可能性を広げよう」として「十人十色!」皆選った良さを持っている  
たまき塾で授業の時くり返している言葉です。自分にも言い聞かせています。

皆さんが大人になられた時、ふと思い出したり何となく残っていてくれたら  
本当に嬉しいと思います。講師として人として伝えている言葉ばかりです。

テストや受験は皆さんを成長させるハトイルです。それだけ目的では  
決ってありません。出陣に喜び達成に気持ち良さを体感して、それぞれ  
前に進みましょう。最後に「努力正して成長なし」共に成長していきます。

玉森みさ様